

## W8PRML 演習問題 3.2

大上 雅史 (@tonets)

2012/11/10

### 3.2 (標準)

行列  $\Phi(\Phi^\top\Phi)^{-1}\Phi^\top$  は任意のベクトル  $\mathbf{v}$  を  $\Phi$  の列ベクトルで張られる空間の上に正射影することを示せ。そしてこの結果を使って、最小二乗解 (3.15) は図 3.2 で示した多様体  $S$  の上にベクトル  $\mathbf{t}$  を正射影することに対応していることを示せ。

$$(3.15) \quad \mathbf{w}_{\text{ML}} = (\Phi^\top\Phi)^{-1}\mathbf{t}$$

---

$\Phi(\Phi^\top\Phi)^{-1}\Phi^\top$  が正射影行列であることの証明

$\Phi = (\varphi_0, \varphi_1, \dots, \varphi_{M-1})$  とおく。  $\varphi_i$  は  $N$  次元列ベクトルである。  $\mathbf{v}$  を  $\Phi$  の列ベクトルで張られる空間  $\text{span}\{\varphi_0, \dots, \varphi_{M-1}\} = S$  に正射影したベクトルを  $\mathbf{v}'$  とおくと、  $\mathbf{v}'$  は  $\varphi_0, \dots, \varphi_{M-1}$  の線形結合で表せるので、  $\{c_i\}$  を実数として、

$$\mathbf{v}' = \sum_{i=0}^{M-1} c_i \varphi_i = (\varphi_0, \dots, \varphi_{M-1})(c_0, \dots, c_{M-1})^\top = \Phi \mathbf{c}$$

と書ける。また、ベクトル  $\mathbf{v} - \mathbf{v}'$  は  $S$  と直交することから、  $S$  を張る  $\varphi_i$  それぞれとも直交する。よって、

$$\begin{aligned} \varphi_0^\top(\mathbf{v} - \mathbf{v}') &= 0 \\ \varphi_1^\top(\mathbf{v} - \mathbf{v}') &= 0 \\ &\vdots \\ \varphi_{M-1}^\top(\mathbf{v} - \mathbf{v}') &= 0 \end{aligned}$$

となり、まとめて書くと

$$\begin{aligned} \begin{pmatrix} \varphi_0^\top \\ \vdots \\ \varphi_{M-1}^\top \end{pmatrix} (\mathbf{v} - \Phi \mathbf{c}) &= \mathbf{0} \\ \Phi^\top(\mathbf{v} - \Phi \mathbf{c}) &= \mathbf{0} \\ \Phi^\top \mathbf{v} &= \Phi^\top \Phi \mathbf{c} \\ \mathbf{c} &= (\Phi^\top \Phi)^{-1} \Phi^\top \mathbf{v} \end{aligned}$$

を得る。さらに、  $\mathbf{v}' = \Phi \mathbf{c}$  であるから、

$$\mathbf{v}' = \Phi(\Phi^\top\Phi)^{-1}\Phi^\top\mathbf{v}$$

であるので、  $\Phi(\Phi^\top\Phi)^{-1}\Phi^\top$  は  $S$  に正射影する行列である。

最小二乗解 (3.15) が  $S$  にベクトル  $\mathbf{t}$  を正射影することに対応していることの証明

それぞれの文字は以下の通りである .

$$\mathbf{t} = \begin{pmatrix} t_1 \\ \vdots \\ t_N \end{pmatrix}, \quad \mathbf{y} = \begin{pmatrix} y(\mathbf{x}_1, \mathbf{w}) \\ \vdots \\ y(\mathbf{x}_N, \mathbf{w}) \end{pmatrix}, \quad y(\mathbf{x}, \mathbf{w}) = \mathbf{w}^\top \phi(\mathbf{x}), \quad \mathbf{w} = \begin{pmatrix} w_0 \\ \vdots \\ w_{M-1} \end{pmatrix},$$

$$\phi(\mathbf{x}) = (\phi_0(\mathbf{x}), \dots, \phi_{M-1}(\mathbf{x}))^\top, \quad \varphi_i = \begin{pmatrix} \phi_i(\mathbf{x}_1) \\ \vdots \\ \phi_i(\mathbf{x}_N) \end{pmatrix}, \quad \Phi = \begin{pmatrix} \phi_0(\mathbf{x}_1) & \phi_1(\mathbf{x}_1) & \cdots & \phi_{M-1}(\mathbf{x}_1) \\ \phi_0(\mathbf{x}_2) & \phi_1(\mathbf{x}_2) & \cdots & \phi_{M-1}(\mathbf{x}_2) \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ \phi_0(\mathbf{x}_N) & \phi_1(\mathbf{x}_N) & \cdots & \phi_{M-1}(\mathbf{x}_N) \end{pmatrix}$$

$\mathbf{y}$  に対する最小二乗解は ,

$$y(\mathbf{x}_i, \mathbf{w}) = \mathbf{w}^\top \phi(\mathbf{x}_i) = \phi(\mathbf{x}_i)^\top \mathbf{w}$$

を縦に並べて ,  $\mathbf{w} = \mathbf{w}_{ML}$  を用いて ,

$$\mathbf{y} = \begin{pmatrix} \phi(\mathbf{x}_1)^\top \mathbf{w}_{ML} \\ \vdots \\ \phi(\mathbf{x}_N)^\top \mathbf{w}_{ML} \end{pmatrix} = \Phi \mathbf{w}_{ML}$$

と表せるので ,  $\mathbf{w}_{ML} = (\Phi^\top \Phi)^{-1} \Phi^\top \mathbf{t}$  より ,

$$\mathbf{y} = \Phi (\Phi^\top \Phi)^{-1} \Phi^\top \mathbf{t}$$

よって ,  $\mathbf{y}$  は図 3.2 の  $\Phi$  の列ベクトル  $\varphi_i$  で張られる部分空間  $S$  への正射影となっている .

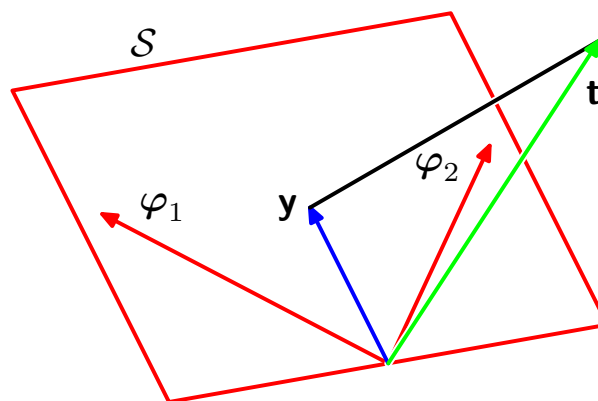


図 3.2